

116	出版祝いのお礼 ふつうの文例
<p data-bbox="1193 427 1278 1328">お手紙、本日頂戴いたしました。拙い本の出版に対して、すぎたお気づかいをたまり、心から感謝いたします。</p> <p data-bbox="1002 427 1182 1328">出版を思い立ちましたのは、一昨年のことでした。もちろん人様に読んでいただけるような文章など書けるとは思いませんでしたが、どうしても亡き父の回想録を残したく、浅学非才を顧みず蛮勇をふるうこととなりました。</p> <p data-bbox="858 427 991 1328">これにより、思い半ばにして世を去った父の無念が、多少なりと晴らされたのではと、自己満足をいたしております。今後もお一層のご厚情をたまりますようお願い申し上げます。</p> <p data-bbox="810 454 842 689">まずは右お礼まで。</p> <p data-bbox="810 1193 842 1283">かしこ</p>	